

●学習指導プラン【小学校 第4学年 社会科】

学習内容	「ごみのしよりと利用」の学習での、ごみ処理施設（あらかわクリーンセンター）の見学を通し、センターでは、計画的にごみを処理していることや環境に配慮して処理していることを理解する。また、灰や焼却熱が有効に利用されていることを学習し、再生可能エネルギーの大切さに気付く。		
ねらい	あらかわクリーンセンターの見学を通して、ごみを燃やした後の灰のゆくえや焼却熱によって発電することができることを理解し、自分たちでできることを考えることができるようにする。		
段階	学習活動・内容	時間	○ 指導上の留意点 評価（評価方法）
問題把握	1 あらかわクリーンセンターでのごみ処理の方法を知る。 2 学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ごみを燃やした熱や資源ごみの利用法について知り、自分たちにできることを考えよう。 </div>	10	○ 「ごみのしよりと利用」の学習内容をふり返り、可燃ごみ・不燃ごみ・リサイクルできる物それぞれの処理・利用方法について想起する。
問題追究	3 手回し発電機の発電実験を行う。 ・豆電球 ・LED 電球 ・プロペラ 4 あらかわクリーンセンターの見学を行う。 ・焼却工場 ・資源化工場	70	○ 手回し発電機の実験を通して、動力が電気に変わることを体感できるようにする。 ○ 手回し発電機と、豆電球・LED 電球をつなぎ、LED 電球は、小さい電力でもつくことを理解させる。 ○ 焼却工場では、余熱で給湯したり、焼却した熱でタービンを回して発電したりすることを知らせる。 ○ 資源化工場では、びん・缶・ペットボトルそれぞれの処理を見学し、様々な活用法を知ることができる。
まとめ	5 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ごみを燃やした熱はお湯や電気に再生されて、私たちの暮らしに役立っている。私たちは、「3R」リデュース・リユース・リサイクルに努めていきたい。 </div>	10	○ あらかわクリーンセンターの焼却工場や資源化工場の見学、発電実験を通して分かったことをまとめ、自分たちでできることを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> あらかわクリーンセンターのごみの処理や再生可能エネルギーへの取り組みを理解し、自分たちも「3R」を心がけて生活しようという気持ちをもつことができたか。（発言・記録） </div>
作成推進校	伊達市立伊達東小学校		

【実践成果】

「ごみのしよりと利用」の学習では、自分たちの生活で出るごみから学習課題を考え、教科書やインターネットなどの資料を活用して調べ学習を行ってきた。

ごみ処理施設見学にあたって、環境との関連や再生可能エネルギーについても学習できることが重要だと考え、あらかわクリーンセンターでの見学学習を行った。

<成果>

- 事前に社会科の学習で、ごみの処理が計画的に行われていることや、環境に配慮していることなどを学習し、自分なりの視点をもって見学に臨む姿が見られた。
- あらかわクリーンセンターの担当の方と事前に打ち合わせを行い、再生可能エネルギーについて、実験を通して発電の仕組みを教えていただいたことで、電気を作ることの大変さや重要性を体験することができた。
- 見学学習を通して、児童は生活を振り返り、自分たちにできることについても考える態度を育てることができた。



発電実験に取り組む子ども達



缶のリサイクル



プラスチックのリサイクル